

(法第28条第1項関係様式)

平成31(令和元)年度事業報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで



(特定非営利活動法人の名称) NPO法人 熊本まちなみトラスト

1 事業の成果

NPO法人熊本まちなみトラスト(KMT)は、平成28年熊本地震から1年後の2017年5月に同名の任意団体からNPO法人化し、2019年度は第3期の事業年度となった。

法人設立の目的の一つであったワールド・モニュメント財団(WMF)からの復旧支援もPhase2の契約に入り、2018年度に支援金の大半の受入を終え、残りの受入は復旧工事完了後(2020年4月以降)の予定である。したがって、2019年度にはWMFからの資金の受入はなかった。法人設立のもう一つの目的であった被災文化遺産所有者等連絡協議会(被連協)の運営は、未指定を含む文化財の復旧復興に関する県の補助制度の創設という初期の目的を果たし、大規模被災建造物の応急的復旧工事も2019年度には概ね工事が終了した。

第1期の2017年10月から始まった旧住友銀行熊本支店社屋の保存に向けた取り組みは、第2期の2018年暮れに保存活用を前提とした買取り手が決まり、第3期の2019年5月の年次総会は同銀行支店社屋で開催され、同社屋を取得した㈱カーリーノ・馬場社長から建物の保存活用への抱負をうかがうことができた。熊本市の歴史まちづくり計画立案に伴うパブリックコメントの公募には、熊本まちなみトラスト法人及び9人の会員が応募した。また、2019年5月に熊本まちなみトラストを含む6団体から熊本市に要望書を提出していた。「歴史的建築物の保存及び活用に関する条例」素案に対するパブリックコメントの公募に対しても熊本まちなみトラスト会員は複数で応募する予定である。

市民啓発活動としては、2019年8月に「復興イベント on the 明八橋(納涼夕市)」、同11月から翌年2月にかけて3回の「まちづくり出前講座」を開催し、WMFの支援を受けた中唐人町と西唐人町にある5軒の歴史的建造物の復旧工事が終わった2019年3月には「復旧工事報告会」をPSオランジュリィで行った。2019年度にはまた、それまでの新町古町中心の活動を広げ、宇城地区におけるサンカクドライブイベントも主催し、三角を中心とした文化遺産の顕彰・広報を行った。

これらの活動の一部はハウジング&コミュニティー財団からの助成金を得て行われ、助成に対する中間報告を通して、全国各地のまちづくり団体との交流を行った。更に財政面では、お金を回そう基金の支援を得て、クラウドファンディングにも挑戦した。

新たな試みとしては熊本県立大との共同研究にも取り組み、学生の研究テーマの選択、アプローチの方法などについて助言を行った。

NPO法人熊本まちなみトラスト(KMT)のこれらの一連の活動に対して2019年11

月に日本イコモス国内委員会は「日本イコモス賞 2019」を授与した。それに先立つ同年 9 月には熊本県文化協会が KMT 富士川事務局長に「荒木精之賞」を授与した。いずれも、熊本まちなみトラストの活動が地域文化の振興に寄与したという理由によるものである。これらの受賞も KMT 第 3 期の活動報告に加えておく。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事 者の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
歴史文化 遺産の顕 彰事業	宇城市三角地区の歴史を活かしたまちづくり支援	4/28	宇城市 三角地区	理事 1 人	(参加者) 熊本県市民 6 人	555, 501
	歴史を活かしたまちづくりシンポジウム―旧住友銀行熊本支店社屋の復活劇―	5/18	カリー ノ魚屋 町ビル (旧住 友銀行 熊本支 店社 屋)	理事 10 人	総会出席者 に新町古町 地区住民有 志が加わり 80 人	
	熊本地震復興イベント『納涼カフェと子ども夕市 on the 明八橋』	8/11	熊本市 中央区 明八橋 付近	理事 学生ア ルバイ ト 20 人	新町古町地 区住民のほ かにしない 県内在住者 300 人	
	宇城市三角地区の歴史を活かしたまちづくり支援	11/30	宇城市 三角地区	理事 1 人	熊本県民 6 人	
	被災文化遺産復旧 報告会	3/21	熊本市 中央区 PS オラン ジュリ	理事 復旧工 事設計 施工者 建物所 有者 28 人	無観客で開 催し、HP で 配信	
歴史文化 遺産の保 営	被連協清永部会の運営	2019. 4 月～	清永本 店等	理事 3 人	被災文化遺 産所有者	140, 352

存・活用 を促進す るための 事業		3/31 毎週			1人	
	旧住友銀行熊本支店 社屋（カーリーノ魚屋町 ビル）の保存活用	4/16市 への要 望書提 出、 1/19 PS社と 合同打 合せ他	熊本市 中央区 魚屋町	理事 5人	新町古町地 域住民 熊本県市民	
	まちづくり出前講座 （日本都市計画家協 会との共催）	第1回 11/17 第2回 12/20 第3回 2/4	熊本市 中央区 PS オラン ジュリ	各回理 事5人 学生ア ルバイ ト2人	熊本県市民 参加者 3回延100人	
	熊本市歴史まちづく り計画素案に関する パブリックコメント の提出	ネット 上で議 論→ 2/6 提出	メール 送信	理事 8人	新町古町地 域住民 熊本市民	
歴史文化 遺産の顕 彰・保 存・活用 に関する 広報・出 版事業	ホームページ、 facebook、twitter の運 営	平成31 年4月 ～令和 2年 3月		理事 2人	熊本県市民 活動に連帯 する人たち	614,256
	KMT の活動アーカイ ブの作成	平成31 年4月 ～令和 2年 3月		理事 2人	熊本県市民 活動に連帯 する人たち	
	広報誌の発行	11/1		理事 3人	熊本県市民 活動に連帯 する人たち	
	ドローンを使った画 像記録の製作 ビデオの編集・製作	平成31 年4月 ～令和 2年		理事 3人	熊本県市民 活動に連帯 する人たち	

		3月				
	他都市の交流会などへの参加	9/7 全国まちづくり会議 他		理事 2人	活動に連帯する人たち	

事業④～⑥については、本年度は行っておりません。

法人名: NPO法人 熊本まちなみトラスト

令和元年度 活動計算書

平成31年 4月 1日 ~ 令和2年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	310,000		
賛助会員受取会費	50,000	360,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	1,349,000	1,349,000	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金 ※1	1,100,000	1,100,000	
4. 事業収益			
A事業収益(歴史文化資産の顕彰事業)	57,550		
B事業収益(歴史文化遺産の保存・活用を促進するための事業)	8,000		
C事業収益(歴史文化遺産の顕彰・保存・活用に関する広報・出版)	0		
D事業収益(歴史文化遺産を活用した不動産事業)	0		
E事業収益(歴史文化遺産活用のための物品販売・サービス事業)	0		
F事業収益(その他当法人の目的を達成するために必要な事業)	0	65,550	
5. その他収益			
受取利息	9	9	
経常収益計			2,874,559
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給料手当	0		
イベントバイト代	97,000		
法定福利費	0		
人件費計	97,000		
(2)その他経費			
会場費	8500		
印刷製本費	304,650		
諸会費	10,000		
諸謝金	30,000		
旅費交通費	221,400		
消耗品費	88,536		
通信運搬費	49,594		
雑費	554		
租税公課	2,400		
支払手数料	1,800		
会議費	4,520		
研修費	2,800		
外注費	364,800		
修復支援金(寄付金)	110,000		
調査費	2,852		
保険料	10,703		
その他経費計	1,213,109		
事業費計		1,310,109	
2. 管理費			
(1)人件費			
給料手当	571,500		
役員報酬	0		
法定福利費	0		
人件費計	571,500		
(2)その他経費			
会場費	10,200		
印刷製本費	39,400		
旅費交通費	7,050		
消耗品費	8,277		
地代家賃	600,000		
通信運搬費	23,761		
租税公課	1,200		
支払手数料	11,532		
会議費	30,060		
その他の経費計	731,480		
管理費計		1,302,980	
経常費用計			2,613,089
当期正味財産増減額			261,470
前期繰越正味財産額			419,811
次期繰越正味財産額			681,281

法人名：NPO 法人 熊本まちなみトラスト

貸借対照表

令和2年 3月 31日現在

単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	681,281		
流動資産合計		681,281	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			681,281
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0		
借入金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		419,811	
当期正味財産増減額		261,470	
正味財産合計			681,281
負債及び正味財産合計			681,281

計算書類の注記(第3期)

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。

(2) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

- 1) 月1回のペースで「熊本大学まちなか工房」を8月までは無料でお借りして理事会を開いています。
- 2) イベント時には「PSオランジュリ」を無料でお借りしています。
- 3) 事務局スペースの運営は、水道光熱費・電話・コピー機使用等を月5万円の家賃に含めています。

(3) ボランティアによる役務の提供

私たちの活動は会員のボランティアで成り立っています。今期は詳細の注記はしておりません。

基本的に「活動を実施する上で経費は負担するが、その労力は無料」との考えで運営しています。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	A事業収益(歴史文化遺産の顕彰事業)	B事業収益(歴史文化遺産の保存・活用を促進するための事業)	C事業収益(歴史文化遺産の顕彰・保存・活用に関する広報・出版)	D事業収益(歴史文化遺産を活用した不動産事業)	E事業収益(歴史文化遺産活用のための物品販売・サービス事業)	合 計
(1) 人件費						
給料手当	0	0	0	0	0	0
イベントバイト代	88,000	9,000	0	0	0	97,000
法定福利費	0	0	0	0	0	0
人件費計	88,000	9,000	0	0	0	97,000
(2) その他経費						
印刷製本費	67048		237602			304,650
会議費	4520					4,520
会場費	7500		1000			8,500
研修費			2800			2,800
雑費	19114					19,114
支払手数料	813		987			1,800
諸会費			10000			10,000
諸謝金	30000					30,000
消耗品費	64370	108	5498			69,976
租税公課	2400					2,400
通信運搬費	25841	9844	13909			49,594
旅費交通費	91940	118800	10660			221,400
外注費	33000		331800			364,800
修復支援金(寄付金)	110000					110,000
調査費	2052	800				2,852
保険料	8903	1,800				10,703
その他経費計	467,501	131,352	614,256	0	0	1,213,109
合 計	555,501	140,352	614,256	0	0	1,310,109

3. 固定資産の増減内訳

固定資産はありません。

4. 借入金の内訳

期首1,000,000円の旧団体からの長期借入金は受取寄付金とする。

(単位:円)

科 目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	1,000,000	0	0	0
合 計	1,000,000	0	0	0

5. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。

(単位:円)

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
HC財団助成 (A,B,C事業)	0	1,100,000	1,100,000	0	助成金の総額は 1,100,000円です。
合 計	0	1,100,000	1,100,000	0	

法人名： NPO 法人 熊本まちなみトラスト

財産目録

令和2年 3月 31日現在

単位 :円)

科 目 ・ 摘 要		金 額	
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金		0	
郵便貯金		2	
振替口座 旧)		0	
振替口座 新)		0	
肥後銀行 1		681,275	
肥後銀行 2		4	
流動資産合計		681,281	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			681,281
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金		0	
借入金		0	
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			681,281